

補助事業者名	島根県自転車競技連盟	事業項目名	都道府県自転車競技連盟別選手権事業	委託の有無	無	委託比率 (50%以上)	無	補助金(千円)	補助対象経費総額(千円)	補助率
補助事業名	島根県自転車競技選手権大会	事業形態	()	更新	1年目 / 5年計画	各事業区分の予算額に ・おっている ・おっっていない項目がある	交付要望額	392	要望時	588
		事業コード					交付決定額(a)	392	交付決定時	588
							最終予算額	392	執行率 (b/a)	100%
							決算額 (b)	392		2/3

【社会的課題と補助事業の関係 流れ図】

1 社会的課題 (補助事業を目指す社会的課題の現状と目指す姿を記入してください)

社会的課題 (最終目的)	現状 目指す姿
	島根県自転車競技連盟は、中国地区選手権への参加費を得る困難に苦勞している。 地元の観光産業は厳しい状況である。地元の自転車競技への理解促進や、スタートアップの創出を促す。中国地区選手権への参加費を得るための自転車競技大会を開催し、競技力向上を目指す。地元の観光産業も活性化に寄与する。関係する地元の方に自転車競技への理解度を高める。

2 補助事業の設計・評価 (社会的課題の改善・解決等に資する補助事業を設計し、事業終了後に自ら事業を評価してください)

補助事業 (中間目的)	補助事業の目的達成により、社会的課題の適切な対応、改善、解消、解決を図り、「目指す姿」を実現する。
	島根県における自転車競技選手権大会、競技に集う事で、切迫課題も競技力向上を図る。地元の観光産業も活性化に寄与し、自転車競技への理解度を高める。

※社会的課題と補助事業の関係 (なぜこの補助事業を計画し、実施する必要があるのか?)

1. 補助事業は、様々な社会的課題を見据え、その対応、改善、解決、解決を目指す。計画・設計し、実施するものです。
(1) 補助事業の設計
「社会的課題」の把握 ⇒ 「改善・解決」のための手法決定 ⇒ 「目的」達成のため「補助事業」を計画
(2) 補助事業の実施
「補助事業」の実施 ⇒ 「補助事業」の成果(改善効果) ⇒ 「目的」達成 ⇒ 「社会的課題」の改善・解決等
2. 左記に社会的課題と補助事業の関係を示す「流れ図」を掲げましたので、事前計画とどちらの内容を記入し、流れ図を完成してください。
3. 補助事業の設計と実施にあたっては、この「流れ図」と自らの補助事業を対比し、計画は明確な「目的」、「成果」、「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか「流れ」を合理的に説明できるかを、常に検証してください。
4. また、補助事業実施の効果等を客観的に把握し今後の改善につなげるため、各評価項目の達成度を検証する「指標(達成指標)」と目標値を計画段階でこの「事前計画」/「自己評価書」で明示し、事業実施後は各評価項目の「指標」の達成度を検証し、事業を評価することが重要です。

枠内は補助事業終了後に作成してください。 枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画		事前計画		自己評価 I		自己評価 II	
評価項目	補助金 交付要望時	作成者()	計画変更時(最終計画)	作成者()	作成者()	作成者()	作成者()
受益者	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容
A 事業内容	具体的内容	具体的内容	具体的内容	具体的内容	具体的内容	具体的内容	具体的内容
B 事業の実施結果	実施結果	実施結果	実施結果	実施結果	実施結果	実施結果	実施結果
目標	事業の成果・波及	事業の成果・波及	事業の成果・波及	事業の成果・波及	事業の成果・波及	事業の成果・波及	事業の成果・波及

平成23年度 事前計画／自己評価書 (事業費)

□ 枠内は補助事業終了後に作成してください。 □ 枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

評価項目	事前計画		自己評価 I		自己評価 II	
	計画変更時(最終計画)	作成者()	計画変更時(最終計画)	作成者()	計画変更時(最終計画)	作成者()
C 広報	補助事業によりもたらされた成果の広報	(1) 地方新聞に鳥取県自転車競技連盟主催大会の取材依頼を行う。リサルト掲載を行う。 (2) 地方テレビに鳥取県自転車競技連盟主催大会の取材依頼を行う。	自己評価 I □ 補助事業終了時点で 作成者()	自己評価 II □ 平成25年3月に作成 作成者()	1	1
	【上記】 事業終了時 【下記】 平成25年 2月末時点	本補助事業のホームページを連携するスポーツ団体等のHPにリンクを張ってもらい情報を発信する。 (1) 配布する500枚の会報終了チラシに、補助金による事業であることを紹介する。 (2) 各大会会場内ヶ所に、補助金による事業であることをロゴやリーフレットを掲載する。 (3) ホームページのトップページに、ロゴを掲載して該当ホームページのリンクを取る とともに本事業が補助金による事業であることを旨を掲載する。	自己評価 I □ 補助事業終了時点で 作成者()	自己評価 II □ 平成25年3月に作成 作成者()	4	4
D 自己評価 の体制	各会終了後の7月19日と9月26日に鳥取県自転車競技連盟役員会にて事業評価会を開催予定である。客観的な評価に努める。詳細結果は団体のホームページより結果を公表する。	自己評価 I □ 補助事業終了時点で 作成者()	自己評価 II □ 平成25年3月に作成 作成者()	3	3	

(4) 補助事業の総括 I (自己評価 I: 補助事業終了時) 作成者() 【平成23年11月5日】
補助事業の終了にあたり、事業を振り返り、個々の評価項目の自己評価結果その他を勘案して、補助事業全体を総合的に自己評価してください。

② 総合所見 (補助事業を振り返り、下記項目について記入ください)

今回の事業で、優れていると評価できる点	今回の事業の課題・改善すべき点	【改善策】
<p>【実績】 運営マニュアルの整備とスタッフ体制の確立及び経験ができた。</p> <p>【理由】 トップ競技は例年とおりに開催できた。ロード競技については、特に新コースでの開催で運営マニュアル作成とスタッフ確保には苦労したが今後につながる。</p> <p>競技者登録数が少ないので、参加者数が伸びなかったことは残念な結果であるが、スポーツの中の自転車競技として関係団体を連携してPR活動や普及を検討していきたい。</p>	<p>今回の事業の課題・改善すべき点 事業実施で得ることができた教訓(知識・知見)、その他、アヒールしたい点等(あれば)</p>	<p>【課題】 事業としては成果を得ることができてきたと考えている。一部の人が問題視しない募集チラシやホームページでの募集に限られたことも課題と考えている。ロード競技については、公道での交通通断により地元の方には、ご迷惑をおかけしたことが今後の課題である。</p> <p>【改善策】 運営マニュアルの習熟と参加者数の増加策。予算も限られるが</p>

(5) 補助事業の総括 II (自己評価 II: 平成25年2月末までの状況) 作成者() 【平成 年 月 日】
平成25年2月末時点で振り返りを行い、下記の状況をご記入ください。
○ 事業の目的等の達成状況

事業の目的(中間目標、社会的課題(最終目標)の達成状況(必須))

総合評価 3